



50460-XNRC-K0S0 CIVIC TYPE R 「PERFORMANCE DAMPER®」

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

⚠️ ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に、適合車種の確認を行って下さい。
[適合車種] CIVIC TYPE R 6BA-FL5
3. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんので御了承下さい。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
5. ボルト及びナットの締め付けには、寸法のあった工具を使用して確実に行って下さい。
6. ブラケット、パフォーマンスダンパーの取り付けにインパクトレンチは使用しないで下さい。
7. パフォーマンスダンパーの取り付け作業の際、ダンパーのロッド部を伸縮や回転させたり、ブーツ部を持ちたり、ずらしたりしないで下さい。
また、ボルト位置が合わない場合には、無理に取り付けを行わないで下さい。
8. 「PERFORMANCE DAMPER / パフォーマンスダンパー」はヤマハ発動機株式会社の登録商標です。

商品についてのご質問・ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

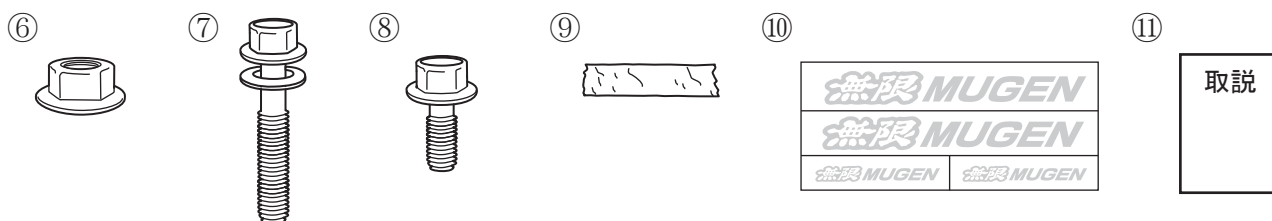
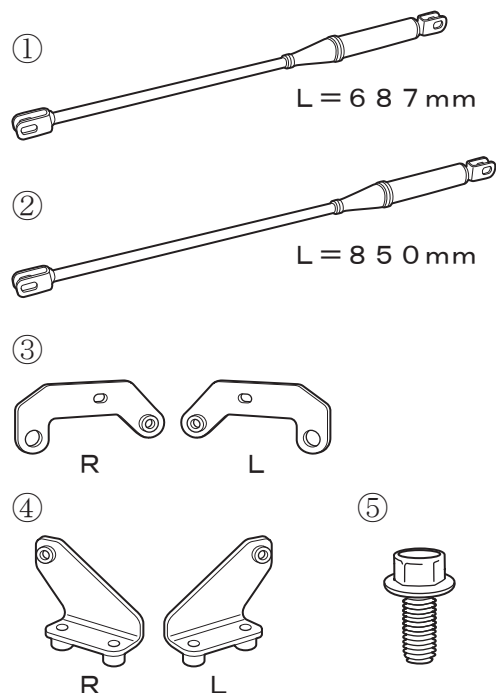
株式会社 M-TEC 商品事業部
〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11
【営業時間10:00～17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. パフォーマンスダンパーが事故や接触により破損・変形した場合は、直ちに交換するか取り外して下さい。
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 定期的にボルト・ナット類の緩み、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	パフォーマンスダンパー (FRONT)	1
②	パフォーマンスダンパー (REAR)	1
③	フロントブラケット (R/L)	各1
④	リアブラケット (R/L)	各1
⑤	フランジボルトa (M10×35)	4
⑥	フランジナット (M10)	4
⑦	ワッシャーボルト (M14×85)	2
⑧	フランジボルトb (M8×35)	4
⑨	遮熱シート	1
⑩	ステッカー	1
⑪	取付・取扱説明書	1



本書本文中の使用部品番号は構成部品表に準じます。

【必要工具】

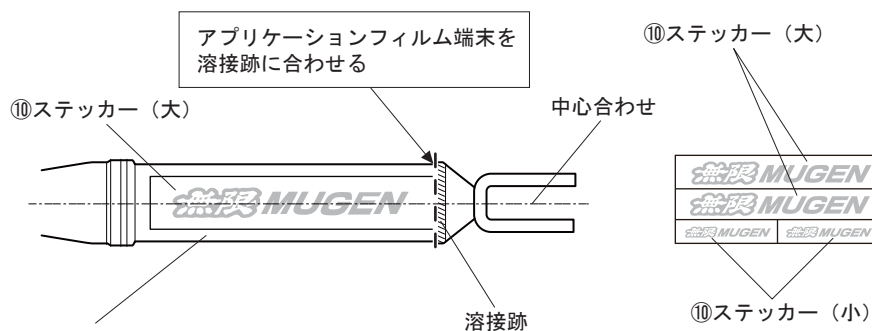
- ・ドライバー+ ・ドライバー- ・スパナ、メガネレンチ 14mm
- ・ボックスレンチ 10mm、12mm、14mm、17mm ・クリップリムーバー
- ・トルクレンチ ・イソプロピルアルコール ・ウエス

■ステッカーの貼付

- ①パフォーマンスダンパー (FRONT)、②パフォーマンスダンパー (REAR) のシリンダー部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。
- ①パフォーマンスダンパー (FRONT)、②パフォーマンスダンパー (REAR) のシリンダー部に⑩ステッカー (大) を貼り付ける。

【使用部品】

⑩ (1)



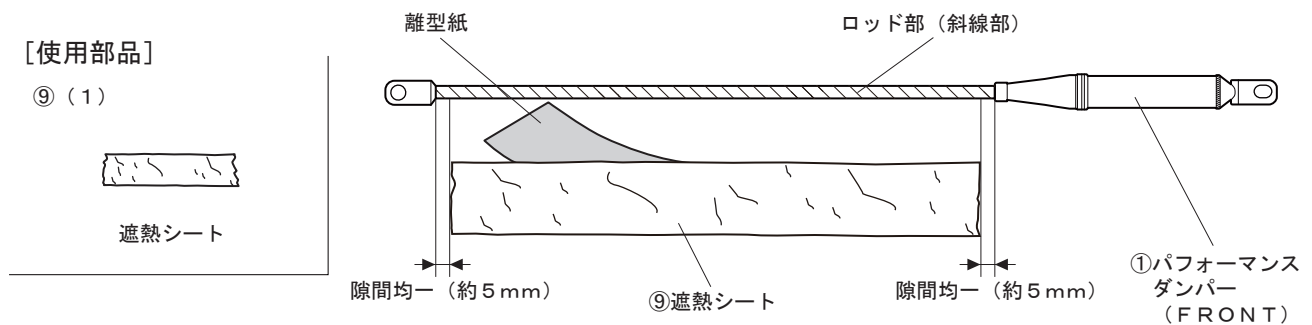
- ①パフォーマンスダンパー (FRONT)
②パフォーマンスダンパー (REAR)

※⑩ステッカー (小) はご自由にご使用下さい。

I. フロント側の取付準備

- 《注意》・ボルト、ナット類が錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
- ・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ①パフォーマンスダンパー (FRONT) のロッド部 (下図斜線部) をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。
2. ⑨遮熱シートの離型紙を剥がし、ロッド部の全周に巻くように貼り付ける。

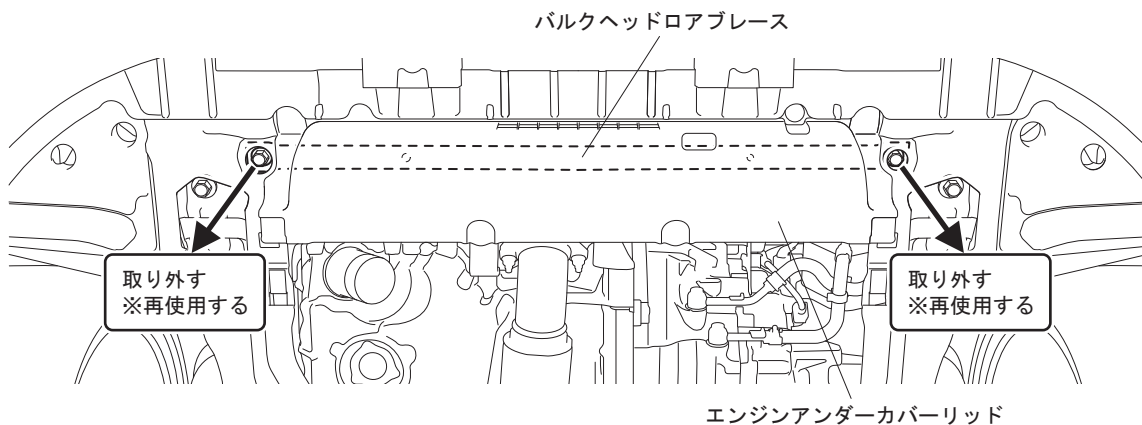


※遮熱シートの圧着は十分行うこと。
圧着不足は、遮熱シートの浮きや剥がれの原因となります。

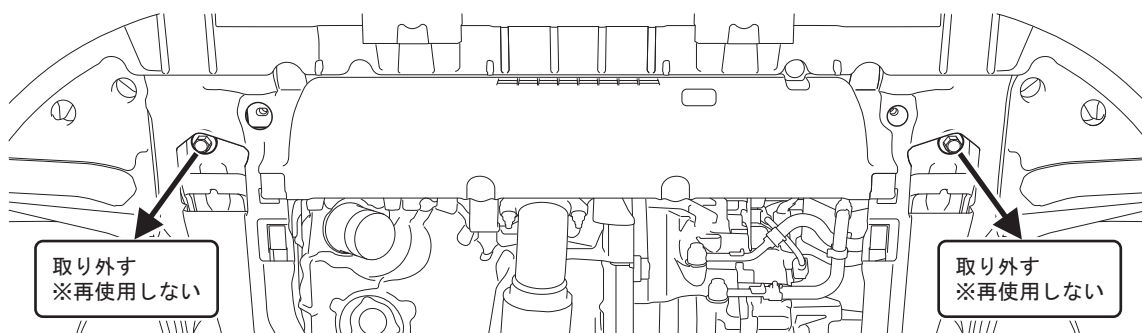
注意

接着力を向上させる為、遮熱シート貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、遮熱シートをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

3. 車両をリフトアップし、フロントエンジンアンダーカバープレートを取り外す。
(サービスマニュアル参照)
4. バルクヘッドロアブレース固定ボルト2本を取り外す。(サービスマニュアル参照)
※取り外したボルトは再使用する為、紛失や破損に注意すること。

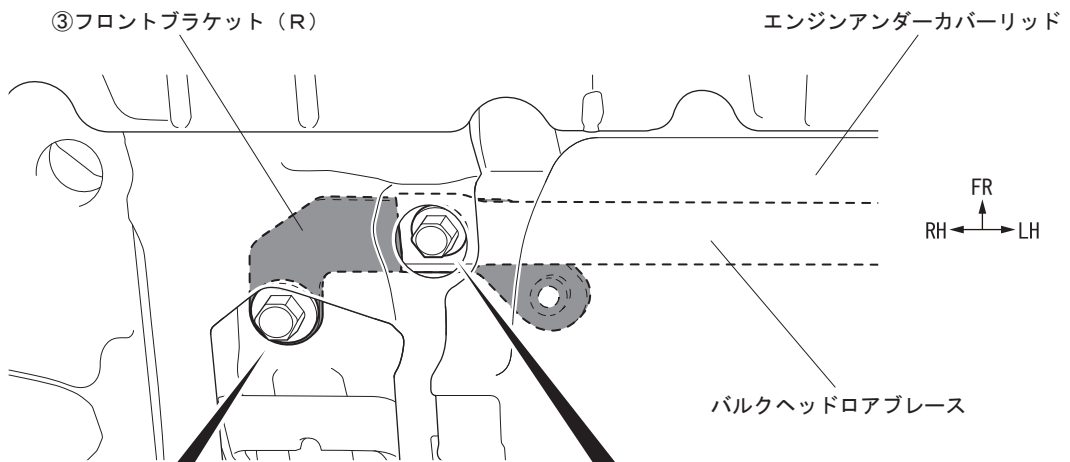
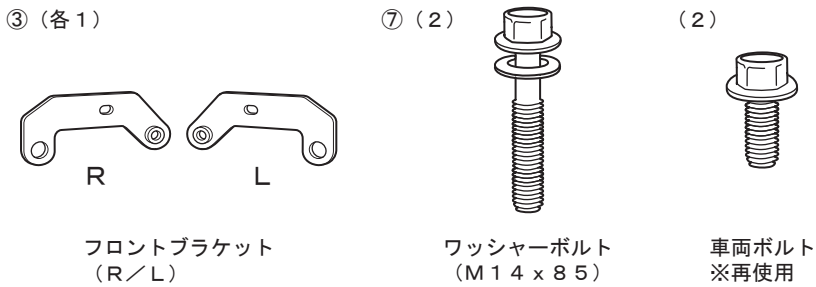


5. サブフレーム前方の固定ボルト2本を取り外す。
※ボルトは再使用しない。

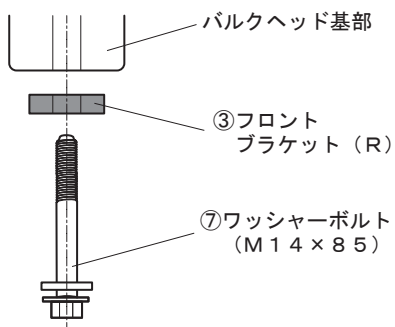


6. バルクヘッド基部に③フロントブラケット (R/L)、⑦ワッシャーボルトの順で仮締めする。〔断面図A〕
7. バルクヘッド基部内側の穴に③フロントブラケット (R/L)、バルクヘッドロアブレース、取り外した車両ボルトの順で仮締めする。〔断面図B〕

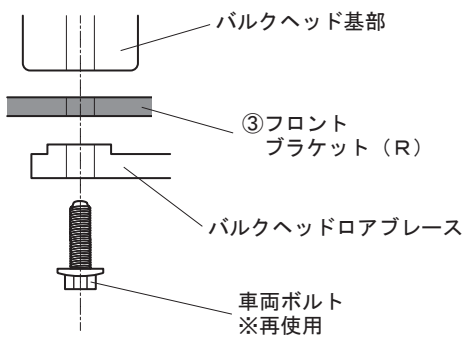
〔使用部品〕



〔断面図A〕



〔断面図B〕



※L側も同様

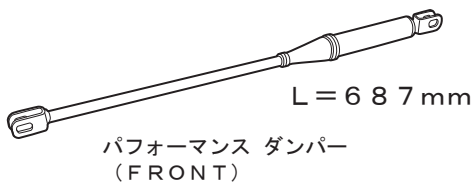
II. フロント側の取付

- 《注意》・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ①パフォーマンスダンパー (FRONT) をフロントブラケット (R/L) に
 ⑤フランジボルト a、⑥フランジナットで仮締めする。

【使用部品】

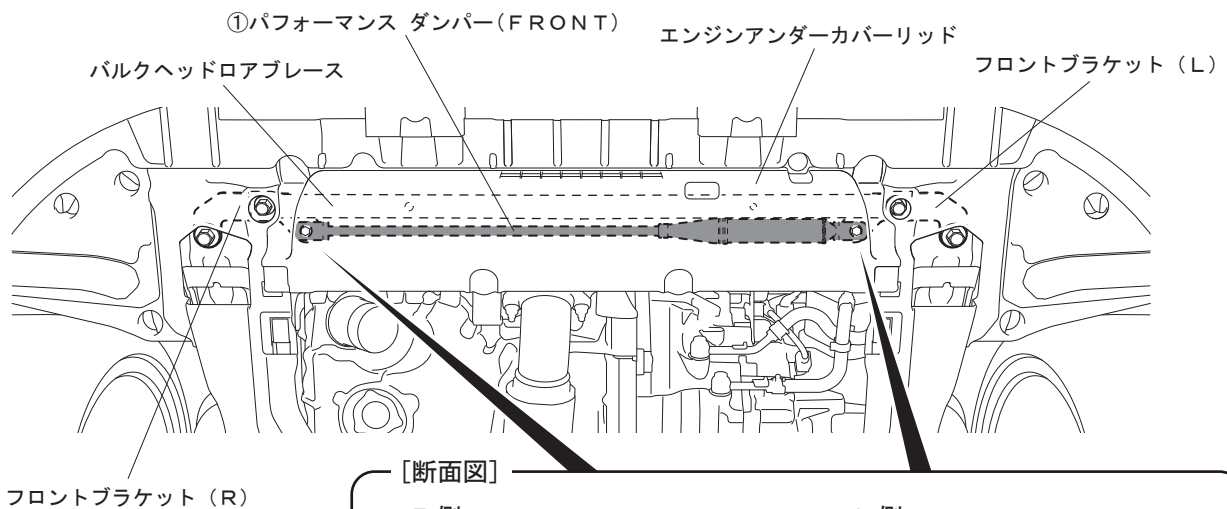
① (1)



⑤ (2)

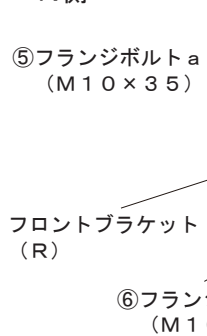


⑥ (2)

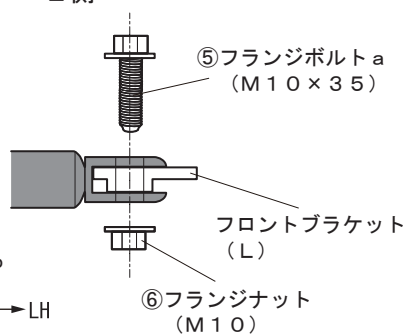


【断面図】

— R側 —



— L側 —



注意

インパクトレンチ
 使用禁止

2. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認する。
 3. 車両を1G接地状態 (タイヤ4輪が接地した状態) にし、I-6で仮締めした
 ⑦ワッシャーボルト2本、I-7で仮締めした車両ボルト2本、II-1で仮締めした
 ⑤フランジボルト a 2本を下記指定トルクで本締めする。

⑦ワッシャーボルト

締め付けトルク : 103 N・m

車両ボルト

締め付けトルク : 38 N・m

⑤フランジボルト a

締め付けトルク : 40 N・m

注意

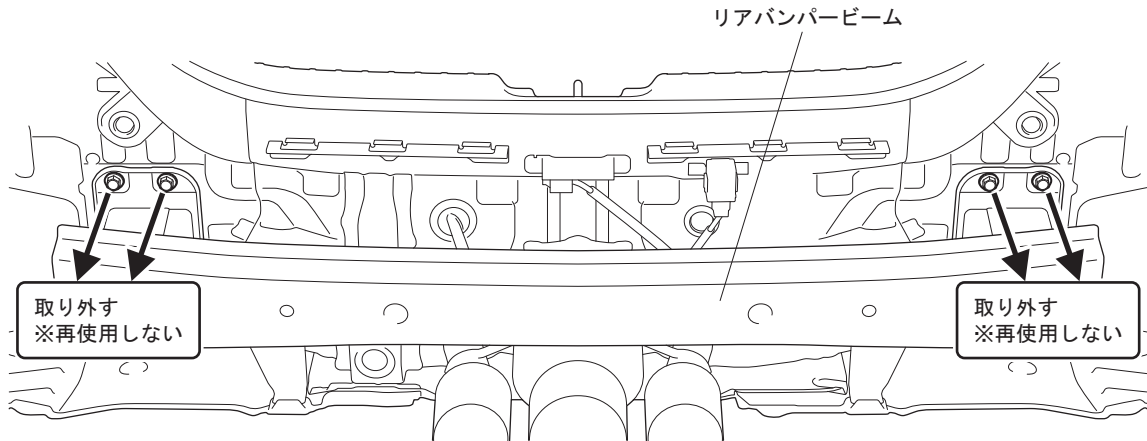
車両 (4輪) が水平な場所で1G接地状態で締め付け作業を行うこと。

4. 取り付け状態が完全か確認する。
 5. フロントエンジンアンダーカバープレートを復元する。(サービスマニュアル参照)

Ⅲ. リア側の取付準備

- 《注意》・ボルト、ナット類が錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
- ・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

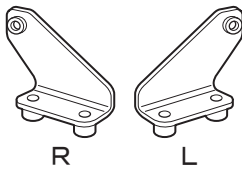
1. リアバンパーを取り外す。（サービスマニュアル参照）
2. リアバンパービーム固定ボルト4本を取り外す。
※ボルトは再使用しない。



3. ボディエクステンションにリアバンパービーム、④リアブラケット（R/L）、⑧フランジボルト b の順で仮締めする。

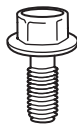
[使用部品]

④ (各1)



リアブラケット
(R/L)

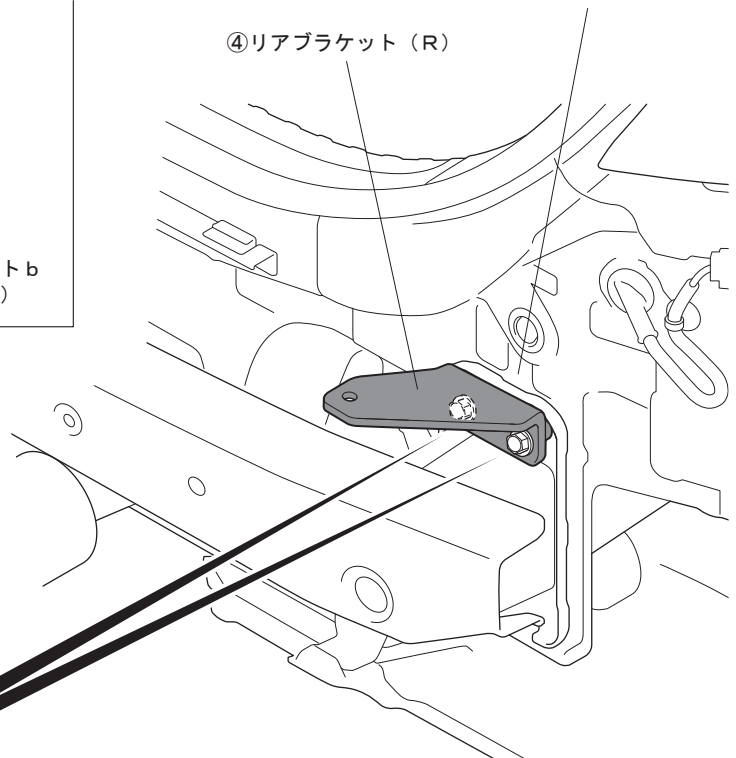
⑧ (4)



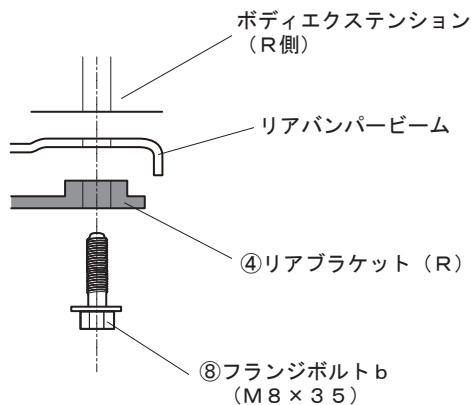
フランジボルト b
(M8 x 35)

ボディエクステンション (R側)

④リアブラケット (R)



[断面図]



※L側も同様

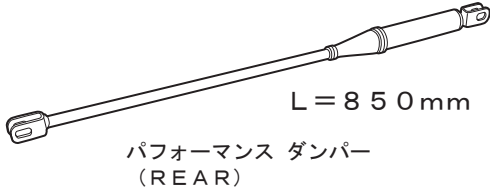
IV. リア側の取付

- 《注意》・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ②パフォーマンスダンパー (REAR) をリアブラケット (R/L) に
 ⑤フランジボルト a、⑥フランジナットで仮締めする。

[使用部品]

② (1)



⑤ (2)

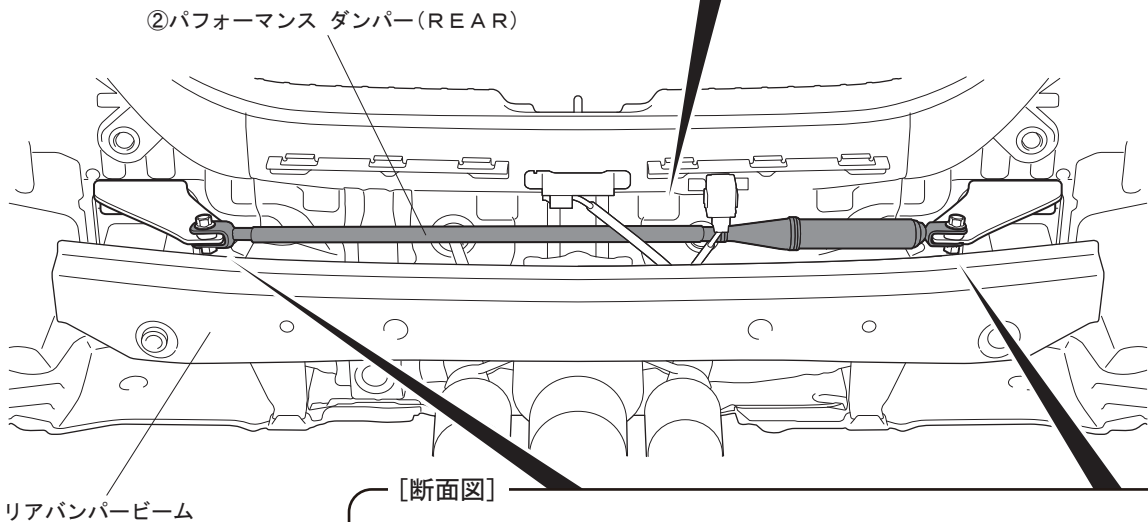


⑥ (2)



注意

配線の間パフォーマンスダンパー (REAR) を通すこと。その際、配線を傷つけないよう注意すること。



[断面図]

—L側—

⑤フランジボルト a (M10 x 35)

リアブラケット (L)

⑥フランジナット (M10)

—R側—

⑤フランジボルト a (M10 x 35)

リアブラケット (R)

⑥フランジナット (M10)

UP
 LH ← RH

注意

インパクトレンチ
 使用禁止

2. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認する。
 3. 車両を1G接地状態 (タイヤ4輪が接地した状態) にし、III-3で仮締めした⑧フランジボルト b 4本、IV-1で仮締めした⑤フランジボルト a 2本を下記指定トルクで本締めする。

⑧フランジボルト b

締め付けトルク : 22 N・m

⑤フランジボルト a

締め付けトルク : 40 N・m

注意

車両 (4輪) が水平な場所で1G接地状態で締め付け作業を行うこと。

4. 取り付け状態が完全か確認する。
5. リアバンパーを復元する。(サービスマニュアル参照)